

平成30年度秋季企画展

最古の信州ブランド

黒曜石

先史社会の石材獲得と流通

平成30年9月15日(土)―11月25日(日)

開館時間▲午前9時～午後5時(入館は閉館30分前まで)

休館日▲9/18(火)、9/25(火)、10/1(月)、10/9(火)、10/15(月)、10/22(月)、10/29(月)、11/5(月)、11/12(月)、11/19(月)

料金▲	区分	企画展	企画展+講座	講座
	一般	300(200)円	500(400)円	300(200)円
	大学生	150(100)円	250(200)円	150(100)円

*()内は団体20名以上

・高校生以下は無料です。
 ・講座聴講の方は常設展もご覧いただけます。・常設展のみご覧の方は料金300円です。
 ・障がい者手帳などの交付を受けている方と同伴の介護の方は無料です。
 ・お得な年間パスポート(2000円)も販売しています。ご利用ください。

主催▲長野県立歴史館

後援▲信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、中日新聞社、産経新聞長野支局、市民タイムス、市民新聞グループ(7紙)、長野市民新聞社、長野日报社、南信州新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送、日本ケーブルテレビ連盟信越支部長野県協議会、(公財)八十二文化財団
 協力▲信州黒曜石文化研究会

長野県立歴史館

千曲市屋代260-6 Tel: (026) 274-2000 <http://www.npmh.net/>



諏訪湖の北側、和田峠から霧ヶ峰には、^{ほしくそとうげ}「星麓峠」「星ヶ塔山」「星ヶ台」といった「星」がついた地名があり、そこには、黒く光る石のかけらが地表一面にひろがっています。その正体は黒曜石です。火山の多い日本列島は世界でも有数の黒曜石原産地帯で、国内には100か所以上の産出地がありますが、長野県の霧ヶ峰から八ヶ岳にかけての「信州黒曜石原産地」は本州最大規模を誇り、日本を代表する黒曜石原産地のひとつです。

文化の十字路信州では、旧石器時代より黒曜石を求めて人びとは集い、やがては縄文王国といわれるほどの繁栄を遂げました。その繁栄に黒曜石の存在が欠かせませんでした。「信州黒曜石文化はすごい！」日本の中の信州文化について黒曜石を通じて描き出します。

本年5月、「星降る中部高地の縄文世界—数千年を遡る黒曜石鉱山と縄文人に出会う旅—」が日本遺産として認定されました。日本遺産の紹介や縄文鉱山をはじめ構成文化財も展示します。



星ヶ塔黒曜石原産地遺跡



茅野市麦草峠の黒曜石露頭



黒曜石原産地での石器製作跡 旧石器時代
長和町鷹山第1遺跡M地点 長和町教育委員会蔵



消費地の石槍 旧石器時代
信濃町貫ノ木遺跡 当館蔵



国史跡星麓峠黒曜石原産地遺跡の黒曜石原石
長和町教育委員会蔵



貯蔵された黒曜石 縄文時代
岡谷市大洞遺跡 当館蔵



北の黒曜石文化 旧石器時代 北海道指定文化財
遠軽町幌加沢遺跡遠間地点 遠軽町教育委員会蔵

▲講演会
9月22日(土)13時30分~15時
講師 浅間縄文ミュージアム館長 堤 隆氏
演題 「黒曜石が語る列島の細石器文化」

▲イベント
10月20日(土)
ワークショップ 「英国フリントの石器作り」
国際交流子どもサミット 「歴史遺産の未来を考える」

▲国際シンポジウム
10月21日(日)13時~15時30分
講師 ピーター・トッピング博士(イングリッシュヘリテイジ)
演題 「先史時代における採掘活動の社会的背景」
シンポジウム 「地球資源の開発とその社会」

▲コンサート・トークショー
11月3日(土・祝)13時~(予定)
テーマ 「黒曜石の世界」 あしき
シンガーソングライター 葦木 ヒロカ 氏 ほか

▲ギャラリートーク
9月29日(土)、10月27日(土)、11月23日(金・祝)



交通案内
長野自動車道「更埴」ICから車で5分。
しなの鉄道「屋代」駅、「屋代高校前」駅から徒歩25分。

長野県立歴史館 長野県千曲市屋代 260-6
Tel.:(026)274-2000